

須坂支援学校創立10周年記念事業

令和2年6月30日

実行委員会だより

発行 須坂市立須坂支援学校
10周年記念事業実行委員会 NO.3

小1(当時)の子が高等部生に

10周年記念事業実行委員長

飯山養護学校長 高山 和浩



平成21年5月(11年前)県教育委員会は「長野地区特別支援学校再編整備計画」を発表しました。その趣旨は老朽化した長野ろう学校の建替えや知的障がい校の過密化への対応でした。また、「新たな教育の場の整備」として「旧第2通学区内校(仮称)について 高校再編の跡地校舎等の県有施設を活用する。設置時期は平成20年代後半(第2期計画)」と記載されていました。

私の記憶によれば、その計画をご覧になった当時の須坂市教育長 渡邊先生が県庁を訪れ、県教委の特別支援教育課長に「特別支援教育の地域化推進の中で、須坂に養護学校の分教室をとの声が高まっている。もう少し早くこの計画を進めることはできないか。」との要望を伝えられました。当時の課長は「市が独自に進めるならば県は協力する」旨をお答えしたように思います。そして、平成22年長野養護学校小学部須坂分教室が開室となりました。

その当時分教室1年生に入学した子が、昨年度私が足を運んだ技能大会やスポーツ大会に長養高等部すぎが分教室の生徒として出場し活躍している姿を見て、須坂支援学校が果たしてきた役割の大きさと確かな実績を感じました。また、10年以上前から設置の要望を挙げたり、開校後も支援していただいたりした皆様に、感謝の念が込み上げてきました。

創立10周年を子どもたちはもとより関係者と共にお祝いしたいと思います。

第2回実行委員会が開かれました

10周年記念事業に向けて第2回実行委員会が開かれました。冒頭に実行委員長より、「10年が経過し一つの区切りを迎える今、さらに10年後を見据えた新たな時代の新たな学校づくりをめざしてほしい」と挨拶がありました。この日は、10周年記念事業の各係から記念事業に向けての進捗状況や予算について話し合われました。

総務係	当日のタイムスケジュールについて
記念誌係	原稿依頼者やページレイアウトについて
記念式典係	式次第や式の内容について
記念公演係	記念公演の内容や出演者の変更について
記念品係	記念ファイルの完成イメージ
広報宣伝係	実行委員会だよりの発行と報道機関への案内について
親の会係	親の会の運営や親の会だよりの発行について



記念式典・記念公演について

記念式典では市長からご挨拶をいただいたり、映像で須坂支援学校の10年を振り返ったりします。

お祝いの言葉では、「どんちゃん」「くぬぎさん」「かめさん」による寸劇仕立てで須坂支援学校の10年をお祝いしたり、感謝の気持ちを表したりします。須坂支援学校らしい記念式典を計画しています。

□ 記念公演については、出演者の変更があります。女優の石野由香里さんがご都合により出演できなくなりました。新たにクラリネット奏者の高井 洋子さんが出演してくださることになりました。本校校歌制作者高畑セロリさんとの共演で、ピアノでの音楽遊びに、さらにクラリネットを足したおもしろい遊びや演目を企画し、クラリネットとピアノのデュオ演奏を聴いていただける予定です。

「くぬぎさん」 「どんちゃん」 「かめさん」
(イメージ図)



記念誌発行

市長や教育長からご挨拶をいただいたり、須坂支援学校創立にご尽力いただいた皆様から設立の経緯やエピソード等をご寄稿いただいたりして制作します。

歴代校長先生、教頭先生、設立当初から在籍していただいた教職員、卒業生の保護者、春畑セロリさん、現生徒会長の皆様からそれぞれの立場で須坂支援学校の思い出や学校に対しての思い等をご寄稿いただきます。



両校の昇降口をバックに二本の桜が手を取り合っている写真が表紙を飾ります(イメージ図)。

【その他】

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から状況により、記念式典、記念公演を中止とする場合があります。9月中旬に最終判断をすることが確認されました。
- 前号で記念公演第1部の会場を音楽室とお伝えしましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、視聴覚室に変更になりました。

【推進日程】

- 7月10日(金) 記念誌原稿〆切
- 8月 3日(月) 記念誌印刷所渡し
- 9月17日(木) 第3回実行委員会(進捗状況、最終係案の確認)
案内通知発送
- 10月下旬か11月上旬 リハーサル等
- 11月20日(金) 前日準備
- 11月24日(火) 記念式典・記念公演

